

学外研修報告

令和3年度国立大学法人機器・分析センター協議会に参加して

共通機器部門 共通利用機器管理班 藤高 仁

1. はじめに(目的等)

国立大学法人機器・分析センター協議会(以下協議会)は、参加機関に設置されている共通分析装置を管理する施設の教職員が、施設運用のために協議や情報交換を行う全国会議である。

2. 期間・場所

期間:令和元年10月15日

場所:横浜国立大学主催オンライン開催

3. 参加者等

国立大学法人等学術機関で共通分析装置の施設及び装置の管理運用を支援する教職員

4. 研修内容

文部科学省の基調講演「学術研究政策に係る最近の動向について」と題して講演をいただき併せて概算要求に関する説明を受けた。続いて筑波大学 学長・国立大学協会 会長 永田恭介様・東京工業大学 教授(元文部科学省大臣官房審議官) 梶原将様・佐賀大学総合分析実験センター 准教授 永野幸生様. による講演を聴講した。

後日協議会主催による「技術職員のビジョン・ミッションと技術継承」といったテーマでシンポジウムが開かれる予定である。

5. まとめと感想.

協議会では、文部科学省大学研究基盤整備課 中村卓様より基調講演があり本学の機器分析施設を支援するための参考となった。

続く先生方からの講演ではコアファシリティ事業や URL の活動を中心とした教育研究施策、国の研究推進に係る動向と海外との研究支援体制比較分析、および研究支援組織作りについてお話があり、今後打ち出される新規事業において技術職員の活躍が各機関において重要となってくると感じた。